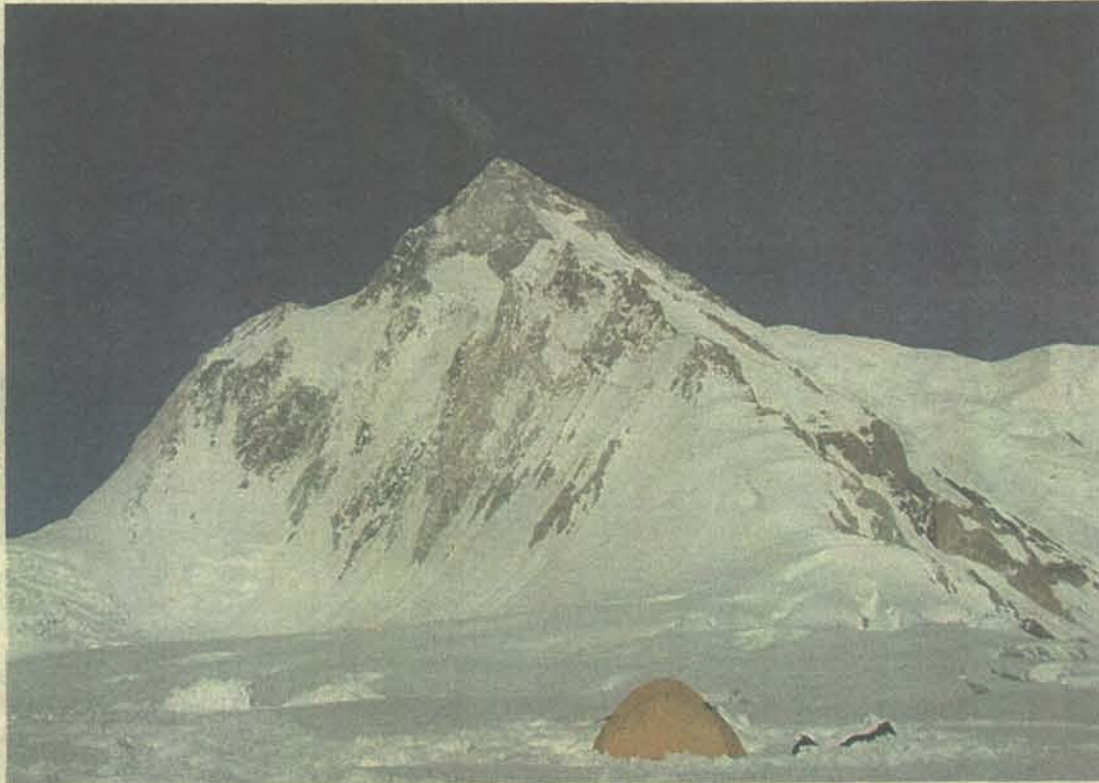


# ガッツャーブルムI峰 登頂



日本勤労者山岳連盟  
 Japan Workers' Alpine Federation  
 〒162-0805  
 東京都新宿区矢来町108番地 第五英見ビル  
 TEL 03(3260)6331(代)  
 FAX 03(3235)4324  
 URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は  
 フリーダイヤル  
 0120-44-2742  
 (平日10~18時)  
 E-mail: jwaf@jwaf.jp



ガッツャーブルムI峰 (右手前の尾根が西稜。C1から写す)

## 困難な西稜ルート登攀

### 全国連盟G1登山隊が03年に次ぐ挑戦

パキスタンカラコルムの高峰、ガッツャーブルムI峰(8,068m)に、困難な西稜から挑んだ。世界第11位 G1峰(8,068m) でいた全国連盟G1登山隊。近藤和美隊長(68歳)以下6名は、7月28日に藤川勝人登山隊長(39歳)が登頂に成功しました。

2006年版登山カレンダールの申込みを開始  
 2006年版登山カレンダール「日本の山」が出来上がりました。一部は1200円。購入申込み受付を開始しました。

ロワールに向かったのに、対して、全国連盟隊は西稜を採用しました。同ルートは下部に極端にやせ細った岩稜、中間部ホワイトドームピーク前後は厄介なナイフエッジの雪稜、更にラッセルを要する広大なフラット、最後は北面に回り込んでの通常ルートと合流しての急な雪壁と変化と困難性を持ったルートです。

### 全国連盟隊 G1を制覇

6月27日のBC入り以降、活動を続けていましたが、7月28日正午過ぎ、藤川登山隊長とネパール人HAPの3名が思わしくない天候をついて登頂に成功しました。今季は約10隊が同峰を目標しました。他隊のすべてが通常ルートジャパニーズクロー

### シエルパの事故 故で2次は中止

一行は一週間後、残る隊員と再度のHAP等で第2次攻撃に向かいましたが、8月5日早朝ホワイトドーム(6900m)の雪稜を先頭で進んでいたタワ・ヌルパ・シエルパが雪庇上を歩くと大量の雪が固定ロープも切断。同氏は同峰北壁

### 氷河と高峰群に驚きと感動の日々 G1支援トレッキング隊

「登山ガッツャーブルムI峰登山隊2005支援バルトロ氷河トレッキング団」これが私達パーティーの名称です。団員は、女性4名と男性5名。それに、エスコートガイドの佐久山の会の池田さん。池田さんは、海外遠征経験豊富な頼もしい助っ人として加わりました。

事務所用地取得  
 東京都新宿区新小川町5-24に約50坪を取得。JRをはじめ5線利用の飯田橋駅より徒歩8分の好立地。事務所の建築も年内には着工予定。

今回のトレッキングは、キャラバン初日からポーターの確保に苦労すると言っ、予想もしない事態で出遅れ、G1、ベースキャンプへ辿り着けなかったのが、心残りでした。しかし、連日天候に恵まれ、「バルトロ氷河とカラコルムの高峰群を目の当たりにして驚きと感動の日々であった。」と支援隊長の伊藤正勝さんは語る。



マッシュャブルムのピークが左上 (バルトロ氷河)

## 第13回全国登山者自然保護集会

— 登山者と自然との新たな関わり方を考える —

◆日時 11月19日(土)13時~ 20日(日)12時  
 19日 自然保護憲章の提案：日本勤労者山岳連盟  
 記念講演：田口康夫氏「溪流環境と砂防ダム問題」  
 20日 分科会：自然保護憲章の討議  
 ◆会場 愛知県労働者研修センター(瀬戸市)

主催・日本勤労者山岳連盟 主管・愛知県労働者山岳連盟

# MFAの資格研修

## インストラクターの養成

### 3日間の研修で7名の資格者

全国連盟遭対部は、「MFAインストラクター養成」の第1回研修会を2005年6月18日から21日、子町のライフセーバー施設で開催した。



MFAインストラクター資格研修者7名と恵秀彦氏

の4日間の日程で千葉県白子町のライフセーバー施設で開催した。MFAとはメディック・ファースト・エイド(MEDIC・FIRST・AID)の略称。アメリカで25年以上も前に誕生した市民レベルの応急救護の訓練プログラムです。講義内容は手当てのテクニックだけでなく、救助前の安全から感染予防、そして手当て後のケアまで、負傷者だけでなく救助者の安全や心理的な側面まで含んでいます。また、MFAは、国連関係組織である世界安全機構の支持を受けており、現在、アメリカなど140カ

国以上で普及している国際的なプログラムとして確立しています。今回の研修会は登山内での「救急法」を広く普及する活動に貢献するインストラクター養成の目的で実施しました。私たちのグレンデとする山は医療機関までの遠さ、気象状況や急峻な地形など特別な環境の中にあります。登山中におけるアクシデントに対応するためには、普段からレスキュー技術を学ぶことが大切です。レスキューの第一段階では、適切な応急手当が求められます。第一回研修会は、これらの対応にこたえられるインストラクターを育て、資格取得後はレスキュー「応急手当」のプロとして各地での講習会・登山学校で活躍して頂くことを期待して開かれました。

## 温暖化とライチョウ

### 第6回ライチョウ会議山梨大会

8月20日・21日に山梨県南アルプス市で第6回ライチョウ大会が開かれた。コケモモなどの高山植物を食べるライチョウは氷河期の生き残り。日本のライチョウは世界最南端に生息しているため、地球温暖化の影響を受けている。南アルプスでは、低山動物のニホンザルの群れが北岳山頂に出没し、高山植物も食べる等の実態報告。21日のシンポジウムは保護と保全をめぐる議論。コーディネーターの山科鳥

岩と沢の3会場で行われ、課題は「ヒヤリハットから学ぶ」。時間をオーバーしても足りない発言の数々でした。二日目は、大阪府連女性委員会作成の冊子「これなら出来る」搬出方法・応急処置」を使って座学と搬出訓練の実技が行われた。女性同士ならではの大胆さ



腹話術を披露

岩と沢の3会場で行われ、課題は「ヒヤリハットから学ぶ」。時間をオーバーしても足りない発言の数々でした。二日目は、大阪府連女性委員会作成の冊子「これなら出来る」搬出方法・応急処置」を使って座学と搬出訓練の実技が行われた。女性同士ならではの大胆さ

から生まれる改良案が飛び交い熱い集会となりました。の「ヒマラヤの東、チベットのアルプス」。中国南西部の横断山脈という未知の山域での十数年の踏査の豊富なスライドと山群紹介。

「近代登山史と山群紹介」の歴史については元登山家、元山岳会長の深野一郎氏が、それぞれ熱意をこめて講義。登山史や山岳の創立当初の初めて聞く貴重な話も多かった。10日は全国連盟役員が登山の登山運動の展望、遭難対策・自然保護・海外登山、登山遭難対策基金などの到達点と展望などを講義。

地域気象、山岳事故調査報告。山からは井戸遭難対策部長、川嶋事務局長、矢崎・今井遭対部員4名が全体会および分科会に参加。初日の夜は和泉福島県連事務局長と懇談し情報交換をおこなった。

分科会では、積極的な質疑応答が行なわれた。今後の民間救助隊のあり方や、未組織登山者への啓蒙活動などを話しあった。

## 民間救助隊のあり方も論議

全国山岳遭難対策協議会

今年度の全山遭が7月14・15日に福島県福島市で開かれた。この会議は文部科学省、警察庁、消防庁、気象庁、日本山岳協会等が主催。毎年、山岳遭難の原因等を研究協議し、今後の具体的対策に役立てるため行われている。今年の講演は新潟中越地震で活躍した東京消防庁のハイパーレスキュー隊の清塚隊長。その救助装備や活動状況の紹介。講義は長野県警のヘリ救助隊による山岳遭難概況の説明や山岳



広島についた平和行進

## 戦争は、核兵器はイヤだ!

### 第48回平和大行進

戦後六拾年目の今年、四十八回目を迎える平和大行進に、広島から「核兵器廃絶」と「平和と登山」に加え「女性委員会」の緑の旗を担いで参加した。行進は五月に始まり八月四日に広島に、長崎には八月六日に到着。沿道の皆さんに核兵器廃絶を訴える事が出来た。今年も例年に無く豪雨と酷暑に悩まされた行進であった。平和行進は東京などからの全コース通し行進者を含め気盛んに続けられた。「戦争はイヤだ。核兵器はイヤだ。平和を守ろう」は参加者全員

## 雪庇崩落をめぐる

### 大日岳裁判は厳しい論戦開始

2000年3月の文部省(当時)登山研修所が主催した登山研修での大日岳雪庇崩落事故から5年。遺族の提訴により富山地裁で裁判が開始されてから3年を経過し、公判はすでに13回を数えています。6月15日の第12回口頭弁論には被告側証人として事故当時の登山研修所の山本一夫主任講師が出廷し、初めての証人尋問が行なわれた。続いて7月13日の第13回口頭弁論では、原告側の中山建夫氏(登山全国連盟遭難対策委員、登山神奈川県連盟理事長)が証人尋問に立ちました。



西日本女性担当者交流集会

## 事故から何を学ぶか

### 滋賀で西日本女性担当者交流集会を開催

全国連盟女性委員会は、近畿ブロック女性委員会主催による「西日本女性担当者交流集会」を5月28日と29日の二日間、滋賀県の比良山岳センターで開催。参加者は19府県から31クラブ44名と主催側6名。

テーマは「事故から学ぶ」。中高年とりわけ女性の事故が増える中で、各地で取り組んでいる遭難や事故を防ぐための活動をもちよりの学習を深め、それをもって各地に反映して行く

## 次代の指導者の育成

### 中央登山学校が指導者セミナー

登山全国連盟は、次代の指導者を育成する目的で、新しい中央登山学校として「指導者セミナー」を7月9日(土)10日(日)に東京で開催した。東京・神奈川・千葉・山梨・長野から6人、全

国理事など18名が参加。9日のオープニングの特別講演は日本山岳会の中村保(なかもら・たもつ)氏

の「ヒマラヤの東、チベットのアルプス」。中国南西部の横断山脈という未知の山域での十数年の踏査の豊富なスライドと山群紹介。

「近代登山史と山群紹介」の歴史については元登山家、元山岳会長の深野一郎氏が、それぞれ熱意をこめて講義。登山史や山岳の創立当初の初めて聞く貴重な話も多かった。10日は全国連盟役員が登山の登山運動の展望、遭難対策・自然保護・海外登山、登山遭難対策基金などの到達点と展望などを講義。

原告の内藤、溝上夫妻ら

被告の文科省側主張の「雪庇の崩落は不可抗力」をめぐる厳しい法廷での論戦が続く。裁判は予断を許さない状況です。一層の原告支援の強化が必要です。

# 国の直轄で中止

7月1日の新聞に「淀川水系、大戸川・余野川ダム建設中止」が国土交通省の方針として報道された。因みに余野川ダムは総事業費500億円、すでに39.5億円を支出済み。国土交通省のこの決定には「淀川水系流域委員会」が03年1月に「ダムは原則中止」の提言が大きな影響を与えた。

他の3ダムについても計画通りの建設は難航が予想される。

## 淀川水系で二つのダム 水系流域委員会が中止提言

大阪府山の自然保護委員会ではダム建設について調査ハイキングと学習会を継続して実施してきた。

ハイキングは「榎尾川ダム」「武庫川ダム」「安威川ダム」の建設予定地で現地の方から説明を聞いた。

学習会ではダムの目的である「利水」計画は必要の減退でダムがなくても問題がないこと、「治水」計画の計算方法が大幅に水増しされている事を「淀川水系流域委員」の高田直俊先生



余野川本流から水量補給の導水管



苗場山場の湿原

苗場山の高層湿原内への木道設置問題が浮上した。03年11月、長野県山を中心とした長野県自然保護連盟が取り組み始めたのは、着工半年前であった。その後、緊急に要請書を県に提出し、交渉を重ねた。

その結果、合同の現地調査と苗場山登山線歩道整備検討会が設置された。メンバーは長野県自然保護研究所特別研究員の松田松二氏を座長とするオブザーバーを含めて5名。

そして、最終調査を決めて、以上5点を確認した。

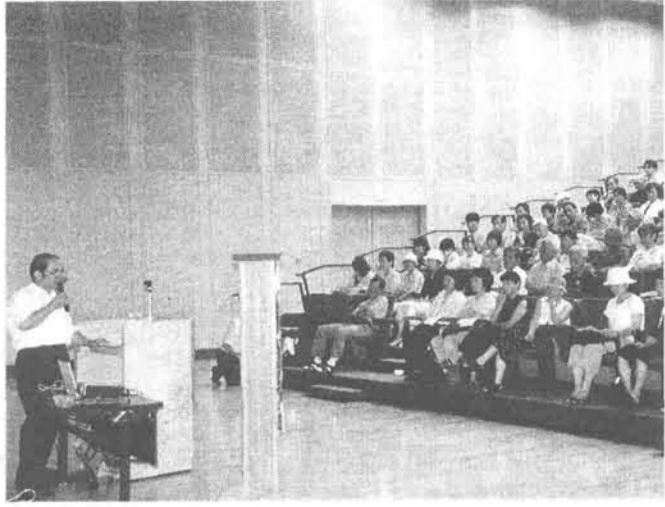
①湿原植生・池塘の通過を

## 現地調査で湿原整備 苗場山登山線歩道整備検討会

(大阪 佐々木雅博・通信員)

# 制定で何が変わるか

## 北海道で自然保護憲章説明会開催



プレゼンテーションで説明(札幌市Lプラザ 8月4日)

## 山のルールが作られる時代

### 北海道全域から120名の会員が参加

8月4日、札幌市で、道が主催し、労山自然保護憲章(案)説明会が行われ、

120名の会員が参加し、呑みながら大雪山など山岳スライドを堪能した。

最初に、道央地区連盟の尾谷賢会長が挨拶。

憲章(案)については、後藤功一全国労山自然保護委員長が1時間にわたり説明をおこなった。全国各地の山岳自然の現状や、地球規模の自然の破壊などについて説明をし、山に負担を掛けない登山のあり方を広め、他の登山団体とも協力して、山の自然を守って行く展望を示した。

後半は、北海道の山岳写真家で、道央地区連盟山岳写真クラブの顧問でもある市根井孝悦さんの、山にまつわる楽しい講演と、息を

「東京都民に残された貴重な自然の宝庫・高尾山(599m)の緑を高速道路のトンネル建設から守ろう」今年も「天狗の集会」

「東京都民に残された貴重な自然の宝庫・高尾山(599m)の緑を高速道路のトンネル建設から守ろう」今年も「天狗の集会」

あり、憲章が制定された後の実行が重要である」ことを強調し、説明会を締めくくった。

山岳組織として社会的責任の一端を果たせたと実感した。

## 安全登山技術講習会を開催

福井で57名参加



安全登山技術講習会

講習会を開催した。参加は57名で、うち一般参加は26名だった。事故について概論的な説明を受けた後、午前中は、簡単な捻挫の処置、止血の方法などの応急処置やCPR等に至るまでのケアを学んだ。午後は、ザックとテープ、ザックと雨具の組み合わせで事故者を背負う技術やシート梱包など、搬出の技術を一通り学んだ。一般参加者から「いい講習だった。行政が予算化してもっと積極的に取り組むべき」との声も。

山岳組織として社会的責任の一端を果たせたと実感した。

## 高尾山を守ろう！

### 21年目続いた天狗の集いに1000名

7月24日(日)正午から裏高尾の梅林が開かれ、約1千人が参加しました。これは、国土交通省が推進する高速道路II「首都圏中央連絡道(圏央道)」に反対するもので、高尾山のシンボルである天狗の集会です。



天狗のパレード

(福井 山崎英治・通信員)

## 山の情報あれこれ

### 第6回全国救助隊交流集会

日時 10月15日(土) 10時～16日(日) 15時  
場所 岩手県盛岡市  
内容 救助技術の向上、救助器具の検証、隊員交流  
参加費 8000円

### 第20回全国雪崩講習会

日時 06年2月10日(金) 7時～12日(日) 13時  
場所 長野県・中央アルプス・宝剣岳、千畳敷カール  
内容  
◎基本クラス  
雪崩理論、積雪断面観察、雪崩判断、雪崩捜索救助の実際他。  
以下のクラスは基本クラス修了者及び同等の方のある者で講師の推薦を受けた者。  
◎中級クラス  
以下のクラスは中級クラス修了者及び同等の方のある者で講師の推薦を受けた者。

### 第12回海外登山集会実施要綱

日時 05年11月19日・20日。19日午後1時開始。内容 記念講演とガッツシャーブルームー隊登山報告。会場 オリンピック青少年センター。交通 小田急線参宮橋駅徒歩5分。費用 宿泊8000円、日帰1000円。申込 全国連盟海外委員会に11月10日まで申込書送付。

### 東京連盟が10月2日(日)に遭対研究集会開催

一山での事故をどうやったら防止できるのか。事故発生件数の多い東京都連盟ですが、事例に学ん

### 雪崩講習会

で、なんと今今後の発生を減らしていくこと、この秋に、東京都連盟「遭難対策研究集会」を開催します。これにむけ、都連盟内の事故報告書の収集や各会への聞き取り調査などを実施中。

### 雪崩講習会

で、なんと今今後の発生を減らしていくこと、この秋に、東京都連盟「遭難対策研究集会」を開催します。これにむけ、都連盟内の事故報告書の収集や各会への聞き取り調査などを実施中。

### 雪崩講習会

で、なんと今今後の発生を減らしていくこと、この秋に、東京都連盟「遭難対策研究集会」を開催します。これにむけ、都連盟内の事故報告書の収集や各会への聞き取り調査などを実施中。

### 雪崩講習会

で、なんと今今後の発生を減らしていくこと、この秋に、東京都連盟「遭難対策研究集会」を開催します。これにむけ、都連盟内の事故報告書の収集や各会への聞き取り調査などを実施中。

### 雪崩講習会

で、なんと今今後の発生を減らしていくこと、この秋に、東京都連盟「遭難対策研究集会」を開催します。これにむけ、都連盟内の事故報告書の収集や各会への聞き取り調査などを実施中。

